

保健事業にかかる保険者支援状況調査について（案）

1. 調査の目的

これまでの保険者支援の現状と課題を踏まえた上で、更なる保険者支援の充実を図るため、本会にて「保険者支援力向上のためのガイド」を作成する。ガイド作成にあたり、実際の支援事例等を参考に効果的な支援手法やノウハウ等を整理するため、「保健事業にかかる保険者支援状況調査」を実施するもの。

2. 調査対象

全国の国保連合会

3. 調査方法

国保連合会に調査票を配布、回収。

併せて、調査結果から好事例等の一部の国保連合会に対してヒアリングを行う。

4. 調査時期

令和3年9月～令和3年10月（予定）

5. 主な調査内容

以下の項目について調査を行う。

（1）アンケート調査について

①保険者支援等に関する事例収集

別紙「支援力向上ガイド作成に向けた調査項目整理表」に掲載予定の事例を踏まえ、保健事業のPDCAの各フェーズにおける連合会での支援事例について記載いただく。

また、支援にあたり、実際に使用している資料があれば情報提供を依頼する。

詳細は「保健事業にかかる保険者支援状況調査 調査票（案）」参照。

②支援パターン作成に向けて

支援が必要となるケースに対して連合会が感じる課題や課題解決に向けた取組について回答いただく。

（2）ヒアリング調査について

別紙「支援力向上ガイド作成に向けた調査項目整理表」参照。

令和３年度 保健事業にかかる保険者支援状況調査【国保連合会向け】

令和３年９月時点での貴国保連合会における支援について、以下の設問にお答えください。

- (1) 以下の１．～１７．に記載された「保険者支援の取り組み」について、貴国保連合会で実施している場合、具体的な「取り組み内容」をお答えください。
また、それぞれについて支援力向上ガイドに盛り込んでほしい内容がありましたら、記載ください。

なお、保険者支援にあたって実際に使用している資料（個別保険者の支援計画、支援記録のフォーマット、ヒアリングシート等）があれば、参考資料としてご提示ください。
（本調査票と合わせて、添付資料としてご提示ください。）

	保険者支援の取り組み	取組例	記入欄	
			取り組み内容 （貴連合会内での取り組み内容を『具体的に』 お答えください）	支援力向上ガイドに盛り込んでほしい内容 （取り組みにあたっての課題など）
Ⅰ 事業 準備	１．保健事業の全体像や国保連合会・関係者の役割を確認するための取り組み	・年に１回、都道府県や広域連合等の関係者と役割を確認する打ち合わせ等を開催している 等		
	２．国や都道府県の動向を把握するための取り組み	・都道府県と現状等を確認するための意見交換会を開催している 等		
	３．保険者の状況確認のための取り組み	・保険者を訪問して、保険者の状況を把握している ・保険者数が多い中で、全数の実態把握をしている ・国保組合に対し、市町村国保とは別の方法で支援している 等		
	４．関係者との連携体制を構築するための取り組み	・都道府県、広域連合と連携体制を構築している ・連合会内部で、事務職と専門職が連携して実施体制を構築している 等		
Ⅱ 事業 企画	５．保険者支援の全体目標を設定するための取り組み	・ヘルスサポート事業全体や支援・評価委員会の目標を具体的に設定している 等		
	６．全体事業計画を作成するための取り組み	・県内の状況から、保険者支援に関する計画を策定し、戦略的に支援保険者を選定し、支援している 等		
	７．支援保険者を募集するための取り組み	・ヘルスサポート事業の募集について、独自の工夫を行っている 等		
Ⅲ 事業 実施	８．支援保険者の課題を整理するための取り組み	・支援保険者に対して、訪問等で詳細にヒアリングを行っている ・支援保険者に対して、訪問以外の方法でヒアリングを実施している ・保険者支援にあたって、過去の支援記録を活用している 等		
	９．支援保険者の個別支援計画や支援記録を作成するための取り組み	・支援保険者の個別支援計画や支援記録を作成している 等		
	１０．支援・評価委員会を効果的に実施するための取り組み	・支援・評価委員同士の支援ノウハウの共有について工夫している ・保険者間で情報共有できるように工夫している 等		
	１１．研修会を効果的に実施するための取り組み	・支援・評価委員会と効果的に連携して、研修を実施している 等		
	１２．事務局支援を効果的に実施するための取り組み	・支援・評価委員会後に、事務局が事後フォロー等を行っている ・事務局支援に関し、コンサルティングなど民間事業者から支援を受けている 等		
	１３．コロナ禍での感染症対策としての取り組み	・オンラインを活用して支援している ・書面開催時に注意していること・工夫していること 等		
	１４．申請のない保険者に対する対応方法	・未申請保険者についても、支援の必要性を判断し、追加で声掛けしている 等		
	１５．事業評価における取り組み	・ヘルスサポート事業や支援・評価委員会について、評価を工夫して実施している ・支援保険者毎に支援内容・結果を評価している 等		
Ⅳ 事業 評価	１６．支援結果の関係機関との共有	・支援結果を関係機関と共有している 等		
	１７．次期計画の見直し	・評価結果を次期計画に活かしている 等		

(2) ヘルスサポート事業等の保険者支援に際し、以下の場面において「支援に際して困っている点」、「工夫して取り組んでいる点」がありましたら具体的にお答えください。
また、それぞれについて支援力向上ガイドに盛り込んでほしい内容がありましたら、記載ください。

	保険者支援の場面	記入欄		
		支援に際して困っている点	工夫して取り組んでいる点 (貴連合会内での支援に際して、 工夫している点を『具体的に』お答えください)	支援力向上ガイドに盛り込んでほしい内容 (取り組みにあたっての課題など)
支 援 バ タ ー ン	支援保険者数が多い場合の支援			
	大規模保険者への支援			
	国保組合への支援			
	高齢者の保健事業と介護予防の 一体的実施の支援			
	糖尿病性腎症重症化予防の支援			
	企画時の目標設定、評価指標の 設定の支援			
	事業評価の支援			

関係機関へのヒアリングについて

ヒアリングの目的

「保険者支援力向上のためのガイド」を作成するにあたり、国保・後期高齢者ヘルスサポート事業における現状・課題等を把握するため、国保連合会へのアンケート調査に加え、関係機関に対するヒアリングを行う。

【ヒアリング先】 国保連合会、都道府県、後期高齢者医療広域連合、全国国民健康保険組合協会、全国健康保険協会（協会けんぽ）

ヒアリング内容（案）

ヒアリング先	ヒアリング内容
国保連合会	<ul style="list-style-type: none">・保険者支援に関する都道府県や広域連合との役割分担、連携状況・体制面での課題・管内の保険者等の課題・ニーズ把握において工夫している点 （例：質的データの提供等）・支援・評価委員会を活用した保険者支援の現状、効果的な支援につながる取組み・保険者に対する、より効率的な情報共有の仕組み・支援結果の評価・改善における考慮点 等
都道府県	<ul style="list-style-type: none">・国保連合会、市町村との連携状況や保健所の関与について・国保連合会と連携した医療費分析の状況 等
後期高齢者医療広域連合	<ul style="list-style-type: none">・国保連合会や構成市町村との連携状況・高齢者の保健事業や介護予防等との一体的実施への具体的な取組状況、課題 等
全国国民健康保険組合協会	<ul style="list-style-type: none">・保健事業に関する国保組合への支援 等
全国健康保険協会 （協会けんぽ）	<ul style="list-style-type: none">・データ分析・評価、情報連携・人材育成・全国の取組推進にあたっての本部戦略 等

支援力向上ガイド作成に向けた調査項目整理表

ガイド内Q	掲載予定事例	ヒアリング目的	ヒアリング内容	ヒアリング先候補 事業報告書等よりピックアップ	優先度
Q1. 保健事業の全体像や国保連合会・関係者の役割を確認するには？	①都道府県や保健所、広域連合の役割を整理している事例 ②広域連合/都道府県における各自の役割について（コラム）	関係機関の役割について、事例を通し整理する。	（京都府連合会） 支援・評価委員会開催にあたり、以下の役割分担を行った。 ・市町村がもれなく取り組めるように誘導（府） ・研修の場を設定（府、国保連） ・技術的助言（支援・評価委員会） ・事後フォロー（国保連） ➡具体的な実施内容をヒアリング。	京都府連合会	高
Q2. 国や都道府県の動向を確認するには？	①都道府県のヘルスアップ支援事業を活用した市町村支援の事例	都道府県による支援の具体例を整理する。			
Q3. 保険者の状況を確認するには？	①保険者を訪問して保険者の状況把握をしている事例 ②保険者数が多くても全数の実態把握をしている事例（訪問以外の方法でも） ③国保組合の支援について	保険者の実態把握の具体的方法、効果率的に行うポイントを整理する。 ヒアリングシートや保険者の実態把握シートの実例を聞く。	・相談から始め、保険者の実態を把握し、計画策定までの具体的な実施の流れをヒアリング。 ・保険者の状況等により、助言方法等を変えている連合会へ具体的なコミュニケーションの工夫や、課題に感じている点をヒアリング。		
Q4. 関係者との連携体制を構築するには？	①都道府県、広域連合と連携体制を構築している事例 ②連合会内部で、事務職と専門職が連携して実施体制を構築している事例	連合会内および関係者との連携体制の構築方法を具体化する。	以下に関して、具体的な役割分担の決定、関係者間のコミュニケーション方法、実施の流れ等をヒアリング。 （滋賀県連合会） 委員会開催後の保険者フォローを県と連合会がともに助言を行っている。 （京都府連合会） Q1 参照	京都府連合会 滋賀県連合会	高

ガイド内Q	掲載予定事例	ヒアリング目的	ヒアリング内容	ヒアリング先候補 事業報告書等よりピックアップ	優先度
Q5. 保険者支援の全体目標を設定するには？	①コラム形式で、ヘルサボ事業の目標/支援・評価委員会の目標について掲載 ②目標の具体例を掲載	各連合会がヘルサボ事業について、どのような目的を設定しているか見える化する。	個別支援計画を見据えた上で、事業目標をどのように立てているかヒアリング。 Q6,9参照	北海道連合会 福島県連合会	高
Q6. 事業計画を作成するには？	①県内の状況から、戦略的に支援保険者を選定して支援している事例	全体の事業計画の立て方、立てたことによるメリットを明らかにする。	個別支援計画を見据えた上で、事業計画をどのように立てているかヒアリング。 Q9参照	北海道連合会 福島県連合会	高
Q7. 支援保険者を募集するには？	①支援保険者の募集について工夫している事例	支援保険者の募集方法について、パターン化できるようにする。			
Q8. 支援保険者の課題を整理するには？	①支援保険者のヒアリングを丁寧に行っている事例（訪問） ②支援保険者のヒアリングを丁寧に行っている事例（訪問以外）	支援保険者の事前ヒアリングの方法、効率的に行うポイントを整理する。 ヒアリングシートや保険者の実態把握シートの実例を聞く。			
Q9. 支援保険者の個別支援計画を作成するには？	①支援カルテ（仮称）とは？をコラムで記載 ②支援保険者の個別支援計画や支援記録を作成している事例	支援カルテ（仮称）の必要性、記載内容、活用方法を明確化する。	個別支援計画計画を立てている連合会（手引き調査結果よりピックアップ）に対し、具体的な支援計画の内容やその成果、課題等をヒアリング。	北海道連合会 福島県連合会	高
Q10. 支援カルテ（仮称）を活用していくには？	①支援記録があつてよかったことを担当者コメントとして掲載	支援記録の活用のメリットを具体化する。			
Q11. 支援・評価委員会を効果的に実施するには？	保険者の特徴等を考慮した、支援方法について記載 ・支援保険者数が多い場合の支援パターン ・大規模保険者への支援パターン ・国保組合の支援パターン	支援・評価委員会を軸とした保険者支援のあり方を整理する。	保険者の状況に応じ個別支援と集団支援を組み合わせ実施した連合会に対し、具体的にどのような観点で、保険者ごとに支援形態を変えたのかヒアリング。		
Q12. 研修会を効果的に実施するには？	①支援・評価委員会と研修を効果的にリンクして実施している事例	支援・評価委員会と研修の効果的な組み合わせ方について整理する。			
Q13. 事務局支援を効果的に実施するには？	①事務局支援を丁寧に行っている事例 ②KDBシステムの活用について、ツールやシート等を用いて支援している事例	事務局支援の実態や現状を明らかにし、より良い事務局支援の方法を整理する。	県や市町村との連携、その他外部機関との連携、感染症予防対策、事務局単独の支援、各種様式の検討、保健所単位の支援などを実施している連合会へ、具体的な内容、考え方、課題等をヒアリング。		
Q14. 事務局機能を強化するには？	①支援・評価委員の支援ノウハウの共有について工夫している事例 ②保険者間で情報共有できるように工夫している事例 ③事務局支援にコンサル等民間事業者の支援をもらっている事例	事務局機能の強化に向けて、各連合会が行っている仕掛け等を明らかにする。			

ガイド内Q	掲載予定事例	ヒアリング目的	ヒアリング内容	ヒアリング先候補 事業報告書等よりピックアップ	優先度
Q15. 新型コロナウイルス感染症等の流行時に気を付けることは？	①新型コロナウイルス感染症流行時に工夫して開催した事例 ②書面開催時の注意点・工夫ポイントをコラムで記載	感染症流行時の効果的な支援方法について整理する。			
Q16. 申請のない保険者に対しての対応方法は？	①未申請保険者についても、支援の必要性を判断し、追加で声掛けしている事例	未申請保険者への効果的な働きかけ方法を整理する。			
Q17. 国保連合会の保険者支援の事業評価を実施するには？	①ヘルスサポート事業について4つの観点で評価を実施している事例 ②支援・評価委員会について、4つの観点で評価を実施している事例	ヘルサポ事業の評価方法の実例を明らかにし、評価方法のあり方を明確化する。	どのように4つの観点で評価を行ったのか具体的な指標や、評価方法等についてヒアリング。		
Q18. 支援結果を関係機関と共有するには？	①支援結果を関係機関と共有している事例	支援結果の効果的な共有方法を明らかにする			
Q19. 次期計画の見直しをするには？	①評価結果を次期計画に生かしている事例	評価結果を改善に生かす方法を明らかにする			